

平成 21 年度環境プログラム無償資金協力
「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」

引渡式

2013 年 9 月 30 日



左から寒川大使， マトラエネルギー大臣



テープカットを行うマトラエネルギー大臣（中央左）と寒川大使（中央右）



設置されたソーラーパネル



発電量を表示する電光掲示板

2013 年 9 月 30 日，寒川駐マラウイ日本国大使は，マラウイ政府に太陽光発電設備の引渡しを行い，マラウイ政府からはマトラ・エネルギー大臣が出席しました。

2010 年 2 月，日本政府は「太陽光を活用したクリーンエネルギー導入計画」の E/N 署名を行いました。贈与額は 6 億 6,000 万円であり，環境プログラム無償資金協力として本事業が実施されました。本事業の目的は，クリーンエネルギーの発展を促進し，太陽光の活用を広めつつ，航空機運航の安全性を高めることです。

本事業により、カムズ国際空港に太陽光発電設備が設置されました。これは、マラウイ電力公社の送電線に接続する太陽光発電という点でマラウイ国内初の設備となります。

太陽光により 830 キロワットが発電され、余剰電力はマラウイ電力公社に売電される予定です。本事業により、空港が電力公社に支払う電気料金を削減できることとなります。